土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

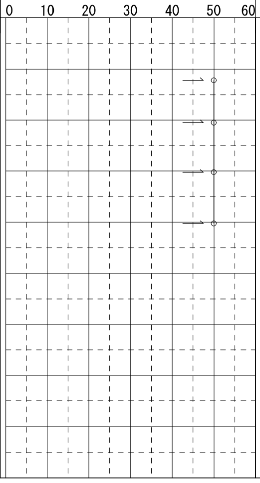
調　査　名	その他河川 天地川 外 砂防激甚災害対策特別緊急事業に係る業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防 構造物基礎

ボーリング名	Bor-4	調査位置	広島県安芸郡坂町小屋浦四丁目	北緯	34° 18’ 26.4793″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和3年 6月 3日～ 令和3年 6月 3日	東経	132° 31’ 02.0355″
調査業者名		主任技師		現場代理人 / コア鑑定者 / ボーリング責任者	
孔口標高	TP 80.44m	角度	180° 上 下 0° 90°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	4.00m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機 東邦.D1-B58 / エンジン ヤンマーNFD-13 / ポンプ 東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	79.29	1.15		礫混り砂質土		濃暗灰褐			0.00～0.10m間、草根が混じる有機質砂質土。以深、細～粗粒のマサ土。φ5～10mmの角礫・亜角礫が不規則に混じる。深度0.50m付近に草根進入する。	
4	76.44	4.00		風化花崗岩		淡黄褐			軟岩1相当の花崗岩。全体に風化が進み、粗粒のマサ状又はφ5～30mmの礫片状。礫片は軟質で、指先で強く押さえるとマサ状や細礫状に崩れる。構成鉱物の内、カリ長石、雲母の細粒化が目立つ。	

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
50以上	1.15～1.29	50/140			50/140	140	
50以上	2.00～2.10	50			50/100	100	
50以上	3.00～3.04	50/40			50/40	40	
50以上	4.00～4.05	50/50			50/50	50	

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1.15～1.29	P-1	㊀		
2.00～2.10	P-2	㊀		
3.00～3.04	P-3	㊀		
4.00～4.05	P-4	㊀		6/3